第34回 所沢松が丘自治会定期総会 会長あいさつ・事業計画基本方針

カテゴリ：**自治会**　　執筆：**totoro2** 2016-5-8 15:43

1．会長あいさつ

平成２７年度は松が丘自治会にとって画期的な年でありました。

第34回所沢松が丘自治会
課題の解決
第一プロジェクトチームの課題
「自治会規則改定」は実現
■ 臨時総会で、ブロック理事制度と議決権行使書の導入等が承認
■ 理事業務の相互理解・改善と業務負担の平準化を図る理事グループ制
今後の自治会活動の基盤が整備
会長

<小林会長あいさつ>

１.今年２８年２月の臨時総会で、ブロック理事制度の導入が承認されました。松が丘自治会活動を支える理事体制の充実が実現したのです。理事業務の相互理解・改善と業務負担の平準化を図る理事グループ制とともに、様々な課題を抱える今後の自治会活動の基盤が整備されたのです。

ここに第一プロジェクトチームの課題は実現しました。

２.第二プロジェクトチームの課題「高齢者支援と子育て家庭の支援」は検討継続中であります。個人情報に深く関わる点もあり、情報収集の段階での突破口を検討しております。

３.本総会に提案されております「ボランティア支援制度」は第三プロジェクトチームが２年間にわたって検討してきました“自治会活動とボランティア活動の協働関係”を明確にするものです。ボランティア団体のより活発な活動環境に寄与するものと確信しております。

４.新まちそだて委員会は、毎月一回検討委員会をもち、ほぼ現行憲章の逐条検討を終わりました。現在論点整理の過程にあります。会員の皆様への説明会等の日程も検討してゆきます。

５. 飯能所沢線第２工区が２月２８日に暫定開通しました。通行車両の増加、通学路の状況等の、交通問題チームによる調査が必須の課題であります。

６．本年度、松が丘地区が県のエコタウンに指定されました。これは、防犯灯LED化、集団資源回収、ホームページでの活動発信等の事業が評価されたもので、国、県、市の補助金を利用して、多くの会員が省エネ改善を図ることができました。

平成２７年度は実りの多い年でした。これは理事、班長の方々のご努力に加え、ボランティアの皆さんのご尽力の賜物であります。感謝しますとともに、より多くの会員の自治会活動への参画をお願いいたします。

２．平成２８年度事業計画基本方針

昭和５６年（１９８１年）に分譲が開始された松が丘は今年で３５年の年月を重ねることとなります。住民の高齢化も進み、班長当番をはじめとする自治会活動も負担となっております。　一方、嬉しい事に若い子育て世代の方々も加わっておりますが、仕事と子育てで忙しく、なかなか自治会活動に参加する余裕がありません。

平成２８年度の事業計画基本方針は、**「自治会活動を会員全員が担う仕組みづくり強化」**です。

基本中の基本として班会合の拡大、班長会議でのブロック別話し合い充実をあげたいと思います。まずは皆さん会員自身が自治会の課題を把握し、自らの問題として捉えなければなりません。

１．理事グループ制の強化で、情報共有・議論の活発化を図り、新たな発想を自治会事業に盛り込んでゆきます。ブロック理事の誕生により、自治会運営の安定化を強化します。

２．先行して努力されているボランティア活動と、自治会活動の協働の仕組みを改善強化します。ボランティア支援制度により、公平で透明性のあるボランティア支援を行います。

３．自治会活動、ボランティア活動、サークル活動の拠点である中央会館・西集会所の活用をより有効にするべく活用委員会を立ち上げます。

４．赤い羽根共同募金、年末助け合い募金等の募金方法を見直し、会員の任意性を担保するようにします。

繰り返し申し上げますが、自治会活動は会員全員のものです。会員全員が自らのものとして自治会活動を捉えてください。みんなの為に何か出来る事があるはずです。

平成２８年5月8日
所沢松が丘自治会
会長　　小林 義一

totoro2さんのブログを読む | コメント (0) | トラックバック (0) | 閲覧 (66)

平成２８年　新年のごあいさつ

カテゴリ：**自治会**　　執筆：**totoro2** 2016-1-1 0:10

自治会員の皆様

平成２８年、あけましておめでとうございます。
自治会役員を代表し、新年のご挨拶にかえて、所沢松が丘自治会が現在抱える課題について、述べさせていただきます。

<川島町の越辺川河川敷で白鳥が飛び立つ瞬間：2015年2月3日撮影>

全役員が参加しての**三つのプロジェクトチーム**は次の通り進捗しております。
１．第一チームは「規則改定案」を取りまとめ、2月14日臨時総会を開催し提案予定
２．第二チームは高齢者支援・子育て支援に関するアンケート実施準備
３．第三チームは「認定ボランティア制度案」を取りまとめ、各グループに説明の上、5月の定期総会に提案予定

飯能所沢線は、年度末（平成28年3月）までに暫定開通の見込みで、開通後の松が丘地区交通量増大が懸念されます。交通問題プロジェクトチームで開通後の交通量を調査する予定です。　昨年は人身事故に成りかねない中央道路での車両突っ込み事故が３件発生しました。緊急対応策としてガードレールの設置を市に依頼し、実施されましたが、騒音問題も含めて、恒久対策を研究する必要があると考えております。

新街そだて委員会は、平成27年4月に第一回会議以降毎月一回開催しております。侃侃諤諤の内容は逐次回覧しておりますが、少しずつ前進しております。全会員への説明会、アンケー

トの実施なども今後の取り組みとして考えております。

全員参加の防犯活動（ワンワンパトロール、学童見守りパトロール、ぶらっとパトロール、防犯教室など）が評価され、埼玉県及び所沢市より表彰されました。1月24日には県西部地区の防犯セミナーで事例発表を行います。でも、油断大敵、昨年10月には1日で４件の空き巣被害がありました。決意を新たに、全員の力で撃退しましょう！

命を守る防災活動、昨年「安否確認プレート」を導入しました。災害時救助活動の７割はご近所の助け“近助”であると言われております。安否確認プレートにより、スムーズかつ的確な近助活動が期待できます。皆さん、今年の防災訓練、是非多くの会員が参加されるようお願いいたします。

環境維持の活動では、毎週行われているクリーンパトロール、そして資源回収は皆様の参加により大きな成果を上げています。焼却ゴミの減量に加え、自治会活動を支える報奨金も百万円を超えております。

敬老の日をお祝いする会は、昨年も多くの会員に参加いただきました。しかしながら団塊の世代の高齢化に伴い、中央会館のキャパシティが限界に近づいております。その実施方法について、皆様と考えて行かねばなりません。

学童見守りパトロールの皆様のご努力には頭が下がります。毎日登校と下校時を見守りいただいております。　昨年はこども農園を開園し、サツマイモ、ジャガイモを子供達と植えつけ、収穫しました。こどもは地域の宝です、松が丘の住民全員でその成長を見守りましょう。

1,156戸（1月1日時点）の自治会世帯の情報共有、コミュニケーションを潤滑に行うため活躍されているのが**広報**です。昨年はよりタイムリーに情報提供するために、A3裏表１枚の「松が丘ニュース」を計７号発行しました。また、自治会ホームページでは「お知らせ」だけで、昨年は136件の記事が掲載され、アクセス数は累計66万件に達しております。地域メディアとして、松が丘から、地域に向けて発信しているのです。

全会員を繋げる、夏まつり、新春餅つき大会、キッズフェスティバルの**ビッグイベント**は行事担当理事を中心に実行委員会を結成し、班長さん、PTA、応援理事そして活動部のみなさんが“縁の下の力持ち”として支えて下さっております。会員の参加も1,000名を超え毎年増え続けており、松が丘自治会全員集合の機会として盛り立てて行きたいと思います。

今年も、会員の皆様**全員参加**で自治会活動そして課題の解決に取り組みましょう。
「どのような形で、自治会活動に参加・貢献できるか」？
みなさん、考えてください！

平成２８年　元旦
所沢松が丘自治会
会長　小林 義一

退任された役員のみなさんからのご挨拶

カテゴリ：**自治会**　　執筆：**totoro2** 2015-6-11 9:09

長い間お疲れ様でした！

＜２０１５年６月１０日撮影　北山公園＞

宮下　昇（副会長）

３期６年間、仕事を持ちながら理事の責任を全うできるかどうか不安でしたが、何とか皆さんの支えにより大過なく務めさせていただきました。

振り返りますと防犯担当を６年間務め、途中幾度か辞めようかと思い詰めたこともありましたが、さまざまなイベントに関わった事や折よく担当として防犯灯のＬＥＤ化を推進することで松が丘全域を隈なく廻ることとなり、改めて松が丘の素晴らしい緑豊かな環境とここに住んでいる皆さんとの出会いの数々がその気持ちを払しょくする力となりました。

このような思いを持つことができたことが理事を務めた財産と感じています。

本当にありがとうございました。

中村 信夫（編集担当）

二度目の自治会理事を仰せつかり２年で退任させていただきました。個人的に仕事も忙しくなり、両立難しく他の人にバトンタッチをお願い致しました。

一昔前と違い情報媒体が紙面からパソコン、スマホそしてタブレットへと移り、いつでもどこでも閲覧できる時代となりました。速報性は圧倒的に電子ベースの広報松が丘です。これからも多様な情報をお知らせしていただければと願うばかりです。

ありがとうございました。

所沢松が丘自治会　副会長　岩本 哲夫

totoro2さんのブログを読む | コメント (0) | トラックバック (0) | 閲覧 (457)

平成26年度 第33回 所沢松が丘自治会定期総会 会長あいさつ・事業計画基本方針

カテゴリ：**自治会**　　執筆：**totoro2** 2015-5-11 23:30

1．会長あいさつ

平成２６年度、あっという間の一年間でした。
会長とはなんとシンドイ仕事であるかを痛感した一年でもありました。

第33回所沢松が丘自治会定
多くの課題に挑戦した1年
近隣町内会、行政、学校等と課題を共有し協議してゆく活動

＜小林会長あいさつ＞

　全役員が参加して三つのプロジェクトチームを編成し、三つの課題に挑戦しました。

１．第一チームは役員選出方法と自治会規則の改定
２．第二チームは高齢者支援と子育て世代の支援
３．第三チームは自治会活動とボランティア活動の関係整理

　松が丘ニュースでもご報告しておりますが、残念ながら検討結果を完全実行に移す段階にまでに至っておりません。
１．第一チームは規則改定会員説明会を３月２２日に開催しました。その結果、本総会に改定案第一弾を提案しますが、ブロック長理事、規則改定方法の明確化については、さらに一年間検討を続けることにいたしました。（総会では規則改定に必要な３分の２以上の出席・委任状がなく、規則改定は取り下げました。）

２．第二チームはこども農園を３月１４日に立ち上げました。新年度に、世帯調査、支援策検討委員会を立ち上げることを課題としています。

３．第三チームはボランティア団体認定基準と自治会支援の原案を作成しました。新年度に各団体への説明会を予定しております。

　平成２６年度、大きな課題が新たに浮上しました。

１．「新街そだて委員会」の発足
２．飯能所沢線の暫定開通

　「新街そだて委員会」の発足に当たっては臨時総会を開催し、会員皆様の総意で決議できました。今後、時間をかけても出来る限り丁寧な委員会運営を期待しております。

　飯能所沢線の暫定開通は春休み後の予定が若干遅れることになったとの連絡を受けております。開通前の通過車両数及び騒音の２４時間データーを、大学の協力を得て自治会で測定いたしました。このデーターにより、開通による影響を数字で把握できます。同時に近隣町内会及び南小学校と協力して、通学路のスクールゾーン指定及び信号機の新設の要望書を作成提出しました。その結果を見守っています。

**　３０年余の歴史を経て、様々な課題に直面している松が丘ですが、そこに住む我々は、孤立ではなく、手を携えて前進して行くべきでしょう。**
**　私たち自治会役員会は、自治会活動をわかりやすく、参加しやすいものにする努力を引き続き頑張ります。会員の皆さん、皆さんご自身がみんなのために何ができるかを、考えて下さることをお願いいたします。どうか皆さん、小さな一歩を歩み出してください。**

２．事業計画基本方針

冒頭のご挨拶で申し上げましたが、我が松が丘自治会は、３０年余の曲がり角を迎え、大きな課題、問題に直面しております。これを乗り越えて行くには、自治会活動の原点にたち戻る必要があると考えます。即ち、“会員全員が自治会活動を担う”仕組みづくりです。これを新年度の基本理念とし、基本方針を提示しました。

１）先ずは班会合の推進です。４０班での実施を目標とします。平成２６年度は３５班、２５年度は３７班でした。全部で１０４班の４割目標です。そして、班長会議でのブロック別討論をより拡充し、いろんな問題を検討いただく予定です。

２）理事業務の相互理解・改善と理事業務負担の平準化のために理事グループ制を導入します。全理事が互いの仕事を理解しあい、より良い改善を進めるとともに、負担の平準化も図ってゆきます。また、理事業務をわかりやすく説明できるマニュアルを整備してゆきます。

３）理事業務の軽減を図るための、事務作業外注化を引き続き検討します。

４）有志の方々により、自治会活動の“一歩先を行く”ボランティア活動が活発に行われております。これらの活動と自治会活動の連携強化を図ってゆきます。

５）松が丘自治会の伝統あるイベントを、より魅力あるものとするため全理事が運営に分担参加する体制を構築します。

６）自治会施設、設備を安全安心で快適なものにするために積極的投資を行います。そのためにも、資源回収への積極的参加をよろしくお願いします。

７）ブロック長理事の導入準備として、役員・ブロック長合同会議を現在の年４回から毎月開催とします。

ブロック長理事の実現により、先に述べた、理事グループ制、マニュアル整備、事務作業外注化、イベント作業分担制と合わせて、若い現役世代を含めた全会員の理事参加を促進できるものと確信しております。

平成27年5月10日
所沢松が丘自治会
会長　　小林 義一

---

totoro2さんのブログを読む | コメント (0) | トラックバック (0) | 閲覧 (443)

平成２７年　新年のごあいさつ

カテゴリ：**自治会**　　執筆：**totoro2** 2015-1-1 0:10

自治会会員のみなさま
平成２７年、あけましておめでとうございます。
新年を迎え自治会役員を代表して、ごあいさつ申し上げます。

<白鳥が飛来する川島町の越辺川河川敷の日の出：2014年2月3日撮影>

　松が丘自治会は設立３２年を迎えることとなり、様々な課題を抱えておりますことは皆さんもご承知のことと存じます。

－今年４月に予定されている飯能所沢線の暫定開通による通過車両増加への対応をどうするのか？
－役員のなり手がいない問題への対応をどうするのか？
－高齢者支援と子育て支援をどのように展開するのか？
－自治会活動とボランテイア活動をどう組み合わせていくのか？
－さらにより厳しい課題として、建替に伴う諸問題があります。これからの松が丘をどのような街にしていくのかを踏まえて、根本的な議論を進めていく必要があります。

　これらの課題に対し、役員会では次のような活動を行っております。

－飯能所沢線暫定開通問題に対しては、
（１）役員のプロジェクトチームによる松が丘中央通りの騒音測定及び通過車両数計測（２４時間）実施
（２）久米中町内会と協議し、南小通学路のスクールゾーン指定及び農協前信号機設置の要望書提出を決定。本年早々に提出できるよう準備

－役員選出、高齢者支援と子育て支援、ボランティア活動に対しては、
（１）役員で３つのプロジェクトチームを結成し、毎月打ち合わせを実施
（２）現状分析、基本方針、２７年度実施案の会員説明会を、２７年初頭に実施予定

－街そだて憲章の再構築に対しては、
（１）建替問題を契機に提起された問題をいかに検討していくか、３回の役員会で議論し、臨時総会発起人の方々とも２回の面談を実施
（２）２７年初頭に、会員全員が討議できるよう準備

　これらの大きな課題は、しかし、役員だけでは解決できません。会員全員が当事者として頑張る必要があります。

　会員の皆様におかれましては、新年を迎える今、**「どのような形で、自治会活動に参加・貢献できるか」**を改めて考えていただきますよう、お願い申しあげます。

平成２７年　元旦
所沢松が丘自治会
会長　小林 義一

totoro2さんのブログを読む | コメント (0) | トラックバック (0) | 閲覧 (615)